新潟大学　倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	長期腎病理組織情報を基盤とした腎疾患の臨床疫学的変遷の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
「腎生検データベースの構築（新潟大学倫理審査委員会承認番号 2017-0105、研究責任者　山本卓）」に同意された患者さんが対象です。 つまり、1954 年 1 月 1 日以降、本研究期間終了までの間に、新潟大学医歯学総合病院(旧　新潟大学医学部附属病院)で腎生検診断を受けた患者さんが対象です。	
③概要	
腎病理組織情報は腎疾患の確定診断に不可欠な情報であり、腎疾患の病態を直接反映する重要な情報です。一方、人口構成、生活習慣、医療環境の変化に伴い、腎疾患の病型構成や背景因子は時代とともに変化していることが予想されます。そこで私たちは、1954 年以降の新潟大学腎・膠原病内科の新潟腎臓臨床病理研究会「腎生検データベース」を用いて、腎病理組織情報を基盤とした腎疾患の疫学的変遷ならびにその背景因子を明らかにすることにしました。	
④申請番号	2026-0172
⑤研究の目的・意義	新潟腎臓臨床病理研究会(新潟大学腎・膠原病内科)の腎生検データベースを用いて、腎疾患の疫学的変遷およびその背景因子を明らかにすることが目的です。社会環境の変化、高齢化、生活習慣病の増加、診断・治療法の進歩が腎疾患スペクトラムに及ぼす影響を検討することで、今後の腎疾患診療および予防戦略に資する疫学的基盤の構築が期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2032 年3月３１日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟腎臓臨床病理研究会(新潟大学腎膠原病内科)の腎生検データベースに保存されている情報(腎生検病理診断結果と病院カルテ情報)を利用させていただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。本研究のデータをほかの機関に提供することはありません。研究成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、氏名などの個人が特定できる情報は公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	腎生検病理診断結果、病歴（年齢、性別、血圧や体格などの身体所見、現病歴、既往歴や治療歴など）、血液検査結果、尿検査結果
⑨利用する者の範囲	新潟大学　健康増進医学講座(腎・膠原病内科) 蒲澤　佳子、伊藤　由美 新潟大学　腎・膠原病内科　高橋　恵実、山本　卓 新潟大学医歯学総合病院　医療技術部　今井　直史
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学　健康増進医学講座(腎・膠原病内科) 蒲澤　佳子、伊藤　由美
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記

	にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院　腎・膠原病内科 氏名：新潟腎臓臨床病理研究会事務局 Tel：025-227-2200 E-mail：jinseiken@med.niigata-u.ac.jp